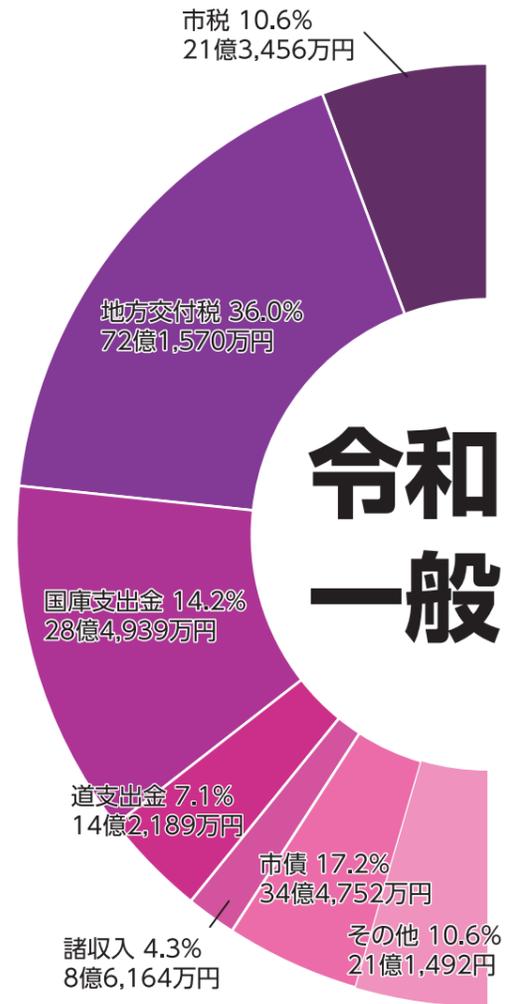


令和4年度決算と9月議会の流れ

3月31日	令和4年度事業終了
4月	↑ 出納整理期間 ↓ 3月31日で会計年度は終わりますが、光熱費などは4月1日以降に請求されるため、前年度の支払等の整理期間となります。
5月	
6月	決算書作成開始 決算書や付属書類などを作成
7月	監査委員による決算監査
8月	監査委員が決算書や付属資料をもとに審査し、意見書を作成
9月6日	9月定例会 本会議① 一般質問 ・議案や令和4年度決算認定に関する提案説明 ・決算審査特別委員会の設置と、決算認定議案の付託 決算審査特別委員会①
9月7日	本会議② 一般質問 決算審査特別委員会②
9月8日	本会議③ 一般質問
9月11日	常任委員会
9月12日	常任委員会
9月14日	決算審査特別委員会③ 書面審査
9月15日	決算審査特別委員会④ 書面審査
9月19日	決算審査特別委員会⑤ 書面審査・総括質疑
9月22日	本会議④ 決算認定の採決 広報編集委員会①
10月19日	広報編集委員会②

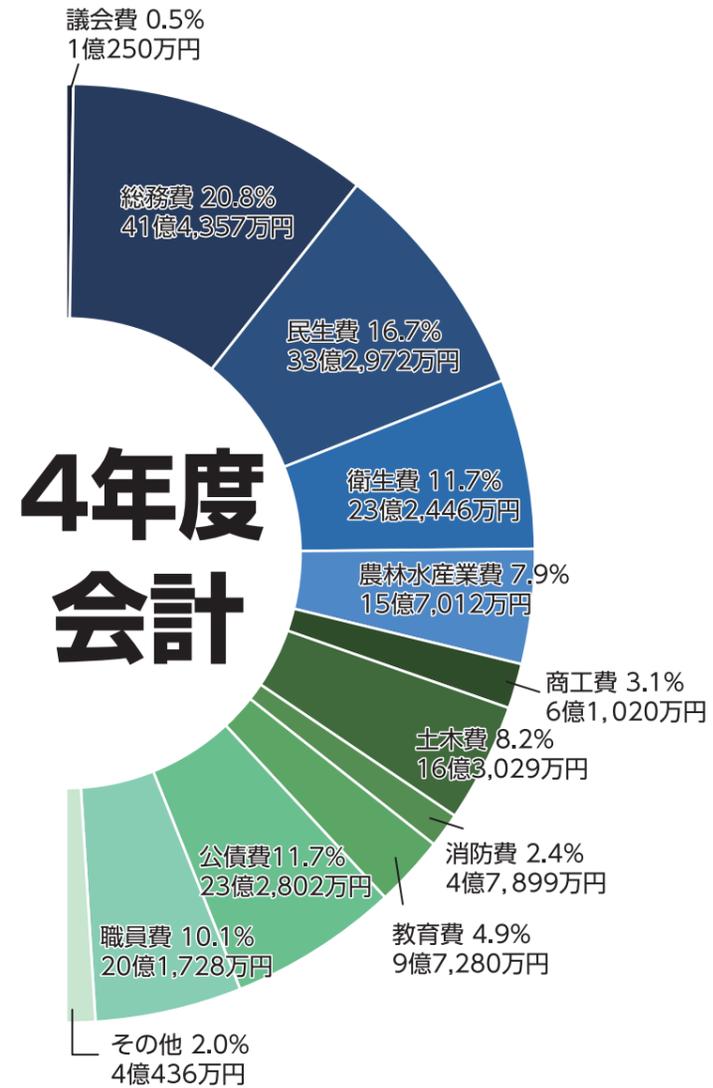
歳入 200億4,562万円



令和4年度各会計別決算

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	200億4,562万円	199億1,231万円	
特別会計	介護保険	23億1,639万円	22億5,415万円
	国民健康保険	28億1,015万円	28億945万円
	後期高齢者医療	4億1,413万円	4億1,294万円
	農業集落排水	1億8,402万円	1億7,580万円
	下水道事業	6億7,290万円	7億1,828万円
	小計	63億9,759万円	63億7,062万円
企業会計	水道事業	6億3,439万円	7億3,884万円
	病院事業	55億8,035万円	57億7,195万円
	小計	62億1,474万円	65億1,079万円
合計	326億5,795万円	327億9,372万円	

歳出 199億1,231万円

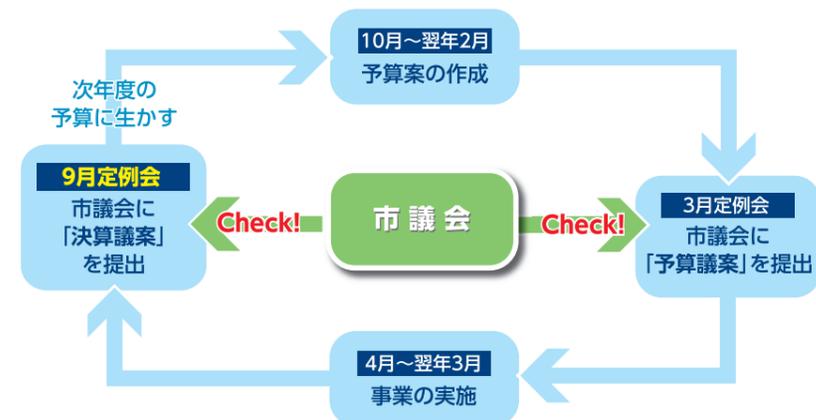


4年度会計

令和4年度決算 認定

議会が厳しくチェック!

第3回定例会(9月議会)では、6人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、令和4年度決算について9月14日、15日、19日の3日間、書面審査や総括質疑を行うなど集中的に審査を行いました。



決算審査は次の予算編成につながるための大事な審査であり、未来に向けたサイクルの一環といえます。

予算から決算
そして次の予算へ

決算審査特別委員会総括質疑

質疑の中から一部を紹介します。



田畑委員

男性のための介護予防教室

Q 男性に特化した介護予防教室の実施は、大変効果的な取組だと思いが、令和4年度の実績とその効果について伺う。

A 令和4年度は計14回開催し、延べ参加者数は216人で、本事業をきっかけに、町内会における自主的な活動に発展した事例がありました。このような活動が広がるよう、引き続き事業継続を図ります。



3歳児健康診査事業

Q 3歳から3歳2か月の幼児を対象に健康診査を実施されているが、令和4年度支出額が3年度よりも増額となった要因について伺う。

A 健康診査における視力検査の精度向上を目的に、屈折検査機器を11万8000円で購入したことが増額の要因で、機器の導入により、弱視や斜視などのスクリーニング検査が可能になりました。

伊藤副委員長

高齢者のごみ出し支援事業

Q 地域での高齢者の見守りにもつながる事業だと認識しているが、令和4年度の利用実績と課題等について伺う。

A 令和4年度は63世帯が利用され、その多くは委託事業者が戸別収集を行っているが、地域の方に協力いただくコミュニケーション支援型の利用が少なく、地域の方とのマッチングが課題となっています。



妊娠・出産応援交付金事業

Q 本事業は、令和4年度の重点事業として、交付額の大幅な見直しを行っているが、交付実績と課題等について伺う。

A 令和4年度は79人に交付し、今後に向けては、市内外の多くの方に広く本事業を知っていただくことが課題と捉えており、他自治体の例などを参考に、より効果的な周知方法等について研究します。

宮澤委員

総合診療専門医

Q 市立病院に勤務する医師数名が、総合診療専門医の資格を取得されたと聞けが、総合診療専門医の資格取得状況と今後の診療体制を伺う。

A 現在、院長が地域総合診療専門医資格を有し、9月下旬に総合診療科を開設予定です。このほか、内科医師2人が総合診療専門医資格を有し、将来的に内科医師を含めた総合診療体制を検討します。



特定・一般不妊治療助成事業

Q 令和4年4月から不妊治療が保険適用となるなど、国も重点事業として取り組んでいるが、本市の事業内容と実績について伺う。

A 令和4年度は、保険適用となった治療費の自己負担額の全額を助成するよう事業内容を拡充し、特定不妊治療助成事業は8件、一般不妊治療助成事業は14件の申請があり、複数の方から妊娠届出がありました。

村上委員

農業ステップアップ推進事業

Q 本市農業における先端技術の導入や経営の安定に資する重要な事業と認識しているが、令和4年度の実績と今後の見通しについて伺う。

A 令和4年度は全9事業を実施し、主な事業として農作業の省力化等を図るためのICT技術導入支援として約135万5000円を支出しました。今後も事業内容を適宜見直ししながら、事業継続を図ります。



医師の時間外勤務状況

Q 医師の研究時間を確保することが重要と考えるが、市立病院における医師の時間外労働の状況と働き方改革による今後の対応を伺う。

A 令和4年度における常勤医師の時間外勤務の状況は、平均で1人当たり年間269.7時間となっており、医師をはじめ職員の勤務状況の改善に向け、業務の効率化等について、横断的な検討を行ってまいります。

佐々木委員

深川未来ファーム運営支援事業

Q 新規就農者の育成を目的として平成29年から実施されているが、新規就農者の育成実績と見込みについて伺う。

A 令和4年度の実績は、市内の土地利用型の農業法人へ1人が雇用就農したほか、現在、独立就農に向け、2人が施設園芸での研修を受けており、それぞれ6年1月からの経営開始に向けて準備しています。



診療放射線技師の手当額

Q 診療放射線技師7人の手当額について、公益通報者とそれ以外の6人の平均金額の差額は幾らとなっているのか伺う。

A 特定個人の所得状況は、プライバシー保護の観点から答弁できませんが、令和4年度における診療放射線技師の平均手当額は、期末勤勉手当を除き、1人当たり月額13万7198円となっています。